



三浦七海 さん・久慈小6年 雪辱で県優勝

2月20日、盛岡市で開かれた第33回県スポーツ少年団柔道大会・女子個人戦で、三船十段記念館柔道スポ少の三浦七海さん（久慈小6年）が優勝。決勝戦では、これまで2戦2敗の相手に雪辱を果たし、栄冠を勝ち取りました。

三浦さんは「小学校最後の大会で優勝できて本当にうれしい！ 中学校でも練習も自主トレも頑張っていて、1年生で全国大会に行きたいです！」と笑顔。早速、中学での目標を掲げ、意欲を燃やしていました。



繋小の優しさに親切実行章

繋小学校（菊池育子校長・児童4人）は3月7日、小さな親切運動県本部（高橋真裕岩手銀行頭取）から小さな親切実行章を受章しました。児童は自分たちで作った野菜などを販売した売り上げで、1月に特別養護老人ホーム愛山荘に車いすを寄贈。優しい心と行動が評価されました。

受章 小さな親切実行章



商店街活性化の成果を報告

魅力アップの効果は大



左ノ一誠堂・斎藤豊代表

レイアウト変更や社内連絡の徹底化などを実施。やるべきことを継続的にできる店に変わりました。

中ノ産直まちなか・小田邦夫さん

季節感の演出や鮮度管理などを充実。お客さんからの評判も上々。これからも取り組みを続けます。

右ノ山海里（運営元 街の駅・久慈）馬内義紀さん

ランチや新商品の開発、接客向上を実施。今後も取り組みを続け、販売増につなげていきたいです。

成功店モデル創出波及事業 ウルトラD久慈2010（久慈商工会議所主催）の成果報告会は2月25日、同会議所で開かれました。 ウルトラDとは「最高の（ウルトラ）商売の醍醐味（D）を満喫しよう」という意味。事業2年目の今回は3店が手を上げ、8月から半年間、中小企業診断士の高橋幸司氏の

指導の下、店の魅力と売り上げアップに取り組みました。事業効果は大きく、期間中は売り上げ、客数、客単価ともにアップ。報告会に出席した20人は、各店の取り組み内容に聞き入っていました。高橋氏も講演し「やりたいことを強く意識し、丁寧に取り組むことが大事」と商店街活性化にエールを送りました。



久慈北道路の用地補償説明会を開催

早期着工に向け調整進む



夏井町を中心に22人が出席した2月17日の説明会

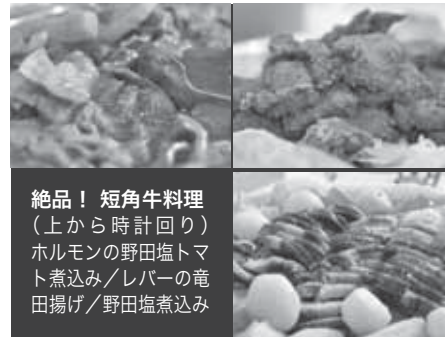
八戸・久慈自動車道「久慈北道路」の用地補償に関する説明会は、2月17日に高砂公民館、18日に侍浜公民館で開かれました。 17日の説明会には、夏井町を中心に22人が出席。はじめに、三陸国道事務所の若山敦用地第一課長が「早めに開通

できるように努力していきます。ただ土地所有者など、皆さんの協力がなければ始まりません。どうか事業へのご理解をお願いします」とあいさつしました。 続いて同事務所の担当者が土地価格の決め方や、物件の補償、税金控除などの補償内容を説明。終了後も出席者から個別に相談を受けるなど、工事の早期着工に向けて調整を進めていました。 夏井町鳥谷から侍浜町桑畑までを結ぶ久慈北道路（7.4km）は、平成21年3月に国土交通省の事業に採択されて以降、順調に調査などが進められてきました。現在は用地取得の事務が進められており、早ければ来年度からの工事着工が期待されます。



山形村短角牛を味わう会2011を開催

特産の魅力味わい大絶賛



絶品！短角牛料理（上から時計回り）ホルモンの野田塩トマト煮込み/レバーの竜田揚げ/野田塩煮込み



短角牛振興の願いを込める木藤古所長

久慈市特産の短角牛のおいしさをPRする「山形村短角牛を味わう会2011」は2月19日、市内催事場で開催。初の試みながら反響は大きく、当初の定員を上回る170人が参加しました。 はじめに、主催者を代表して、総合農舎山形村の木藤古修一所長が「短角牛の魅力を知ってファンになってほしいです。食べることで短角牛を応援してもらえれば」と願いを込めてあいさつ。乾杯の後、絶品ぞろいの会食がスタートしました。

テーブルに並んだのは、山形ファンで料理研究家の井上穹子氏、東京都の日本料理店「山藤」総料理長の梅田鉄哉氏、レストラン東急元総料理長の犬塚義夫氏が監修した短角牛と野田塩を使った創作料理など約10品。ステーキの鉄板焼きコーナーも設けられ、参加者は存分に短角牛の魅力を楽しみました。 会社の同僚と11人で参加した西祐太さん（湊町）は「最高です！ 普段なかなか食べることがないので良い機会。どの料理もおいしいですね。これからはもっと短角牛を食べたいです」と大絶賛していました。



大盛況！ われ先にと料理に手を伸ばす参加者



山形・繋・日野沢小がまとめの交流学習

統合に向け 机並べて勉強励む



作文を発表した七緒ちゃん（右）に質問する柊花ちゃん

本年度で閉校を迎える繋小学校（菊池育子校長・児童4人）、日野沢小学校（田中淳校長・児童6人）と、統合先の山形小学校（佐々木政文校長・児童34人）の3校交流学習は2月23日、山形小で開かれました。 本年度3回目、まとめとなる今回は、単式で授業を実施。児童は学年ごとに分かれ、レクリエーションで交流した後、机を並べて算数や国語の勉強に励みました。 1年生は、日野沢小の皆川柊花ちゃんを加えて7人で勉強。学校行事などの思い出をつづった作文をみんなで発表しました。



約30人が出席した保護者説明会

スキー大会に出場した感想を発表した柊花ちゃんは「みんなと勉強できて楽しかったです。上手に発表もできました。みんなの作文も聞けて良かったです」と笑顔。角館七緒ちゃん（山形小）は「柊花ちゃんと一緒に、レクで宝探しもできて楽しかったです」と喜んでいました。 授業終了後は3校の保護者を対象とした説明会が開かれ、4月以降の学校生活やスクーリング、学用品などについて、山形小学校から説明されました。 準備が進む統合と、間近に迫る閉校。日野沢小の閉校記念式典は3月20日（日）10時から同校で、繋小の閉校記念式典は27日（日）10時から同校で開かれます。